

## 平成 27 年度南予地方局予算の実施状況

1 予算事項名 大洲喜多地区農地復活プロジェクト推進事業費

2 事業期間 平成 27 年度～平成 29 年度

3 所 管 産業経済部八幡浜支局地域農業室



### 4 事業概要

大洲・喜多地区の国営農地(440ha、65 団地)は、基幹作物の葉たばこ廃作等により、約3割の農地が未利用となっているため、モデル的な地域を重点地域として選定し、関係機関・団体による総合的な支援活動に取り組むことにより、国営農地の復活を図る。

	平成 27 年度
予算額	1,006 千円



### 5 27 年度の事業実施状況

#### (1) 支援チーム会の開催

農林業関係機関・団体で組織する喜多広域営農団地推進協議会(会長:愛媛たいき農協代表理事組合長)に「農地復活プロジェクトチーム」を設置。関係市町、JA、地域農業室の担当者 12 人がメンバーとなり、農地復活の推進体制を整えた。

チーム会を開催し、地域の実情に合った耕作放棄地再生方を検討した。(3 回)

セイタカアワダチソウに覆われた荒廃農地を再生

#### (2) 重点地域集落座談会の開催

重点地域として、大洲市松久保地区、八多浪地区、内子町長田地区、池田地区の4地区を選定。

集落座談会、農業委員懇談会等を開催しながら、4地区の農地再生構想を策定した(荒廃農地 27ha→目標 14ha 以下)。(H27 実績:20ha に削減)



松久保地区の農地再生構想

#### (3) 耕作放棄地解消対策研修会の開催

重点地域の集落リーダー等を対象に遊休農地活用の先進地視察研修を実施し、梅酒や桑葉茶などの特産品づくりや体験イベントなど、地域資源を積極的に活用した多面的な耕作放棄地解消対策への意識向上を図った(徳島県吉野川市)。

#### (4) 耕作放棄地再生技術の実証・展示

重点地域において耕作放棄地再生技術の実証展示図を設置し、未利用農地の荒廃防止及び再生利用に必要な技術の確立・普及を図った。

- ①ヘアリーベッチによる土壌改良(松久保 I、61a)
- ②ハゼリソウによる景観形成(松久保 I、10a)
- ③簡易雨水貯水施設による省力かん水(八多浪、48a)

また、牛の放牧を活用した耕作放棄地対策に取り組むため、JA愛媛たいきが和牛 2 頭の訓練放牧を実施し、レンタルカウ制度導入の準備を開始した。



未利用農地の保全管理に有効な被覆作物ヘアリーベッチの実証

#### (5) 既参入企業意見交換会の開催

既参入企業と地域住民等との意思疎通を図り、地域農業の活性化に結び付けていけるよう、地域住民との意見交換会を開催した。(3 法人)

## 重点地域の概要と農地再生の方向

### 松久保地区(大洲市上須戒)

#### 松久保 I・II 団地



- 植栽面積 45.4ha
- 地権者 90 人

#### 〈営農状況〉

当初は葉たばこ、飼料作物中心の団地。一部に若松栽培。

現在は、若松、葉たばこ、ケールが主幹作物。観光なし園の一ノ瀬団地が隣接。

#### 〈農地復活の方向〉

担い手農家への農地集積。葉たばこ、若松栽培の休閑地・跡地における緑肥作物等の導入推進、クリ草生栽培の推進。

#### 〈農地再生の状況〉

荒廃農地	開始時(H26)	10.2ha(22.5%)
	現在(H27)	6.1ha(13.4%)
	目標(H29)	5.1ha(11.2%)

### 八多浪地区(大洲市八多喜)

#### 八多浪・伊州子団地



- 植栽面積 33.6ha
- 地権者 59 人

#### 〈営農状況〉

当初は葉たばこ、飼料作物、桑中心の団地。

現在は、葉たばこ、粟、若松が主幹作物。新規就農者がキウイフルーツを新植(伊州子)。

#### 〈農地復活の方向〉

担い手農家への集積。葉たばこ栽培休閑地での緑肥作物導入、クリ草生栽培の推進。肉牛放牧による雑草管理。

#### 〈農地再生の状況〉

荒廃農地	開始時(H26)	12.6ha(37.5%)
	現在(H27)	11.6ha(34.5%)
	目標(H29)	6.3ha(18.8%)

### 長田地区(内子町五城)

#### 下高屋・横峰団地



- 植栽面積 10.1ha
- 地権者 18 人

#### 〈営農状況〉

当初は葉たばこ中心の団地。

現在は、葉たばこの

ほか、下高屋団地に農業法人が参入。

下高屋団地で用排水施設整備を計画。横峰団地は田舎生活体験宿泊施設「お山の学校ながた」への入り口に位置。

#### 〈農地復活の方向〉

農地中間管理機構を活用した農業法人への農地集積(下高屋団地)。体験宿泊施設と連携した農地の多面的活用(体験農園など)(横峰団地)。

#### 〈農地再生の状況〉

荒廃農地	開始時(H26)	2.8ha(27.7%)
	現在(H27)	2.2ha(21.8%)
	目標(H29)	1.4ha(13.9%)

### 池田地区(内子町大瀬)

#### 池田団地



- 植栽面積 3.0ha
- 地権者 3 人

#### 〈営農状況〉

当初は葉たばこ中心の団地。

現在は、若松中心。

荒廃農地が 60%と多い。

自治会で「さざんか快道」整備等の取り組み。元気な集落づくり応援団(株)伊予銀行、三浦工業(株)が草刈り、清掃活動を実施。

#### 〈農地復活の方向〉

障害者就労支援法人の参入による農地利用(野菜等の自然栽培)。「さざんか快道」の保全管理と合わせた自治会または直接支払協定組織による景観保全的利用。

#### 〈農地再生の状況〉

荒廃農地	開始時(H26)	1.8ha(60.0%)
	現在(H27)	0.4ha(13.3%)
	目標(H29)	0.9ha(30.0%)

※法人参入により当初目標を達成